

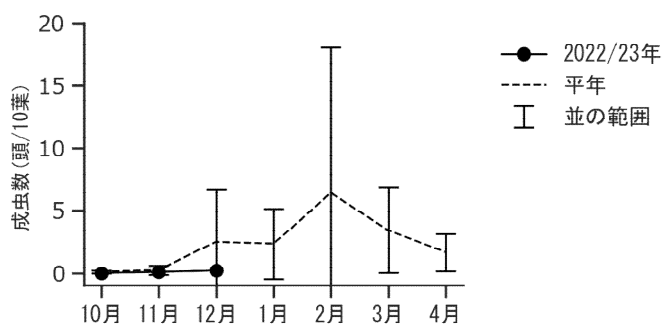
作物	さやいんげん(平張)	地域	沖縄群島
病害虫名	① ミナミキイロアザミウマ		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	並	
予報	12 月からの増減傾向	→	
	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	



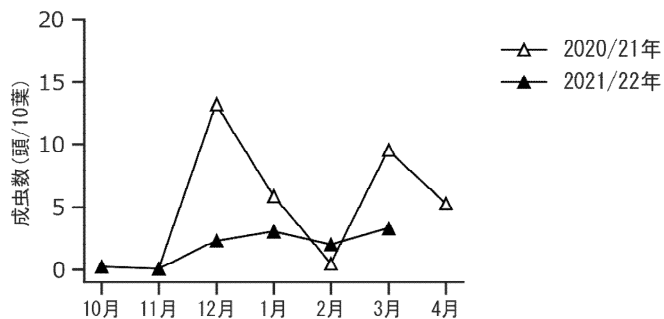
調査結果

成虫数の推移

<今期と平年>



<過去2年>



・発生ほ場率40.0% (平年 : 39.5%)

防除のポイント

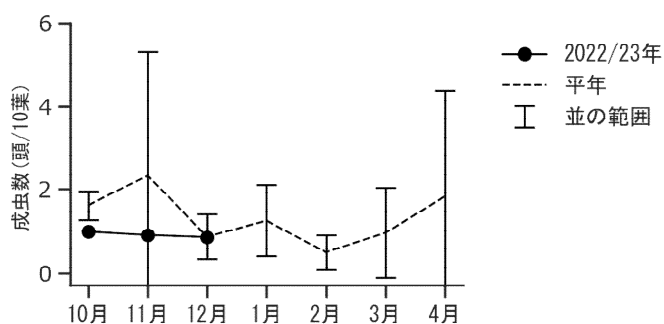
- ・ほ場内外の雑草は本種の発生源となるので、除草を行う。
- ・多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

作物	さやいんげん(平張)		地域	沖縄群島
病害虫名	② タバココナジラミ		 成虫	
調査結果	12 月の発生量（平年比）	並		
予報	12 月からの増減傾向	↗		
	1 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

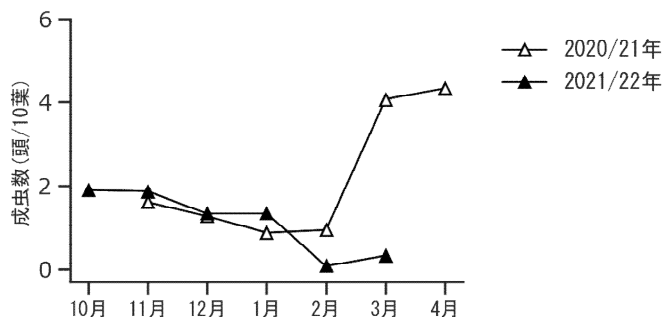
調査結果

成虫数の推移

<今期と平年>



<過去2年>



・発生ほ場率60.0% (平年 : 75.0%)

防除のポイント

- ・ほ場内外の雑草は発生源になるので除去する。
 - ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- また、薬剤抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤や微生物農薬を使用する。



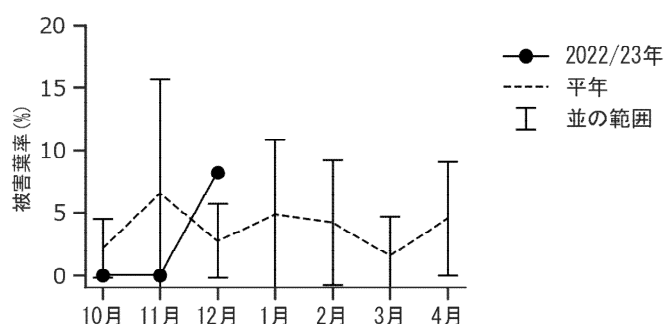
幼虫

作物	さやいんげん(平張)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハモグリバエ類		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)		
予報	12 月からの増減傾向		
	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (ノ)	

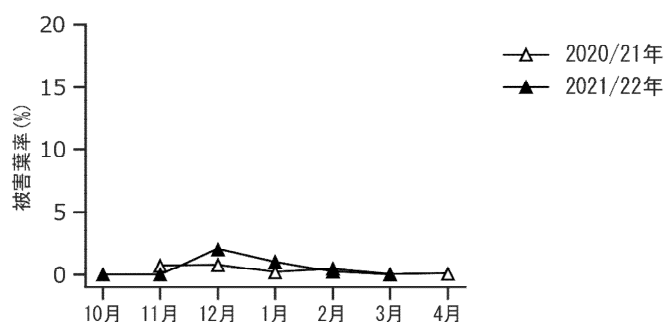
調査結果

被害葉率の推移

<今期と平年>



<過去2年>



・発生ほ場率40.0% (平年 : 67.6%)

防除のポイント

- ・摘葉等による残さは成虫の発生源となるので、ポリ袋に入れるなどして、ほ場外に持ち出し処分する。
 - ・本種は薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- また、野外に多数の在来天敵が存在するため、天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を使用する。

